

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成28年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値	最終目標値 (H31年度)	H28年度		達成状況	未達成の理由
					目標値	実績値		
1	経営基盤の安定強化	日田市ビジネスサポートセンターの年間相談件数 (回)	— H28年6月開設	720回	720回	637回	88.47%	当初は平成28年の4月からの開設を予定し、毎月の目標値を60回として12ヶ月で720回と定めていたが、平成28年6月1日にビジネスサポートセンターを開所したことから目標の達成には至らなかったもの。月ごとの目標は達成していることから、今後も引き続き企業訪問等を行うなど周知に取り組んでいく。
		商工会議所・商工会の年間相談・指導件数(件) (うち窓口相談件数)	4,093件 (1,570) (H26年度)	4,200件 (1,800)	4,200件 (1,800)	4,904件 (1,957)	116.76% (108.72)	
		市の融資制度の年間融資件数(件)	119件 (H26年度)	150件	150件	100件	66.67%	熊本地震による低利な県の災害特別融資の利用が多く、市の融資制度の利用が減少したことによるもの。金融機関の金利低下が進んでおり、平成29年度より市の融資制度の利子を見直した。
		市外での物産展等への年間出店事業者数(社)	8社 (H26年度)	20社	15社	30社	200.00%	
		日田市アンテナショップ 大丸福岡天神店での年間売上額 (億円)	— H27年6月開設	1億円 (H29年度)	1億円	1億6百万円	106.00%	
2	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出	商店街の平均空き店舗率(%)	12% (H26年)	9%	12%	15%	96.59%	チャレンジショップを利用した創業は一定数あるものの、廃業等による空き店舗数の増加がみられた。平成29年度事業である「Reデザインプログラム」と連携しながら、空き店舗の解消に努める。
		家具・装備品製造業の年間製造品出荷額等 (百万円)	5,102百万円 (H25年)	5,513百万円	5,303百万円	5,509百万円 (H26年)	103.88%	
		小売業年間商品販売額(百万円)	63,499百万円 (H26年)	66,674百万円	H30年度に調査を実施予定		—	
		市内商店街での購買シェア(%)	16.9% (H26年度)	16.9% (H29年度)	H29年度に調査を実施予定		—	
		木材・木製品製造業(家具を除く)年間出荷額 (百万円)	14,660百万円 (H25年)	16,100百万円	15,380百万円	15,674百万円	101.91%	
		市の建設工事の市内業者発注件数割合(%)	94.5% (H27年度)	94.5%	94.5%	95.6%	101.16%	
		市の物品の市内業者発注件数割合(%)	79.0% (H27年度)	79.0%	79.0%	73.4%	92.91%	物品の見積依頼は、市内業者を優先的に選考しているが、H28年度は、市内業者では調達できない特殊な物品の発注件数が多かったため。また、担当課が指定する物品が、市外の業者一店しか取り扱いできないものもあった。

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成28年度)

	基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値	最終目標値 (H31年度)	H28年度		達成状況	未達成の理由
					目標値	実績値		
3	経営の拡大及び新分野への進出の促進	日田市工業連合会の会員企業数（社）	226社 (H26年度)	235社	232社	233社	100.43%	
		既存誘致企業の増設及び新規立地件数（件）	2件 (H26年度)	5年間で12件	5件	6件	120.00%	
		企業誘致等による新規雇用者数（人）	42人 (H26年度)	5年間で147人	42人	96人	228.57%	
		年間観光入込客数（千人）	4,503千人 (H26年度)	5,000千人	4,677,000人	3,831,582人	81.92%	4月に発生した熊本地震の影響で、宿泊及び入込客数の大幅な減少があり、その後ふっこう割等の国の施策により宿泊数は回復したものの、がけ崩れ等の影響もあり、観光入込客数が大幅に減少したことによるもの。今後も引き続き積極的な情報発信の強化に努める。
		農産加工の新商品年間開発数（個）	— H28年度新規	5年間で8個	2個	4個	200.00%	
		商工会議所が発行する貿易関係証明発行件数（件）	10件 (H27年度)	15件	15件	16件	106.67%	
4	創業の促進	日田市創業支援事業計画に基づく年間創業者数（件）	8件 (H26年度)	年間13件	年間13件	26件	200.00%	
		日田市ビジネスサポートセンターの支援による創業者数（件）	8件 H28年6月開設	5年間で65件	26件	16件	61.54%	16人は平成27年度の市の融資制度利用の創業者5人と平成28年度のビジネスサポートセンターの支援による創業者11人の合計値。ビズサポは6月の開所であり、相談から創業に至るまで時間を要するため目標に達しなかった。継続中の案件も6件あり、今後も引き続き、相談支援を行っていく。
		開業資金の新規融資件数（件）	1件 (H26年度)	5年間で10件	4件	4件	100.00%	
		女性若者起業支援資金の新規融資件数（件）	7件 (H26年度)	5年間で50件	20件	7件	35.00%	チャレンジショップを利用した商店街での創業や対象外の40歳以上の男性の創業が多かった。今後も、ビジネスサポートセンターで創業希望者の伴走型の相談支援を行っていく。

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成28年度)

	基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値	最終目標値 (H31年度)	H28年度		達成状況	未達成の理由
					目標値	実績値		
5	人材の育成・確保と 事業環境の整備	ジョブカフェおおいた日田サテライト登録者の市内企業への就職者数(人)	59人 (H26年度)	5年間で480人	180人	119人	66.11%	主に有効求人倍率が上昇し、雇用情勢が好転したことにより、登録者が減少したことによるものであり、今後も引き続き各種広報媒体によるサテライトの広報活動や「企業合同面談交流会」の開催等により、企業情報を積極的に提供し、新規登録者、市内就職者の増加を図る。
		ハローワーク日田管内の高等学校卒業生で就職希望者の管内就職率(%)	35% (H27年度)	40%	40%	35%	87.50%	管内各高等学校の就職希望者数や地域別就職率の定着化が一つの要因となっている。今後も引き続きひた・くす合同企業説明会の開催等により、地域にある企業の情報や魅力を直接高校生に提供し、地元就職の促進を図る。
		求職者資格取得支援事業利用者の市内就職者数(人)	— H27年度新規	5年間で75人	30人	15人	50.00%	資格が必要な技能職のなり手の減少等もあり、資格取得支援事業利用者が減少したことによるもの。今後も引き続き、ハローワーク、広報ひた、市ホームページ等で当該事業の周知を図る。
		技能検定の年間合格者数(人)	152人 (H26年度)	160人	160人	119人	74.38%	原因としては、若年技能者の減少により受験者が減ったことが考えられる。対策としては、若年技能者以外の未取得者に対し、技能検定への受験を呼びかける。
		日田共同高等職業訓練校の年間入学者数(人)	3人 (H26年度)	5人	5人	6人	120.00%	
		ハローワーク日田管内の育児休業年間取得者数(人)	173人 (H26年度)	190人	190人	202人	106.32%	
		UIターンによる年間就職者数(人)	— H28年度新規	5年間で70人	10人	8人	80.00%	UIターン者等雇用促進支援事業の制度構築初年度にあたり、情報が十分に行き渡らなかったことによるもの。今後も引き続き、広報ひたや市ホームページ等で当該事業の周知を図る。
		日田市シルバー人材センターの就業率(%)	64.0% (H26年度)	70.0%	70.00%	70.70%	101.00%	
		若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の合計特殊出生率(人)	1.76 (H25年度)	2.1 (H42年度)	1.76	1.79 (H27年)	101.70%	